	中央市ICT推進計画スケジュール(R7年~R11年)			上半期		計画見直し年度	下半期		
				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
	目標	内容	担当者	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2	教育DXに係るKPIの方向性
ICT環境整備計画	機器等整備								
	1人1台端末の充足	全ての児童生徒と教職員が 1人1台端末をいつでも十分に使える体制づく り	教育委員会	契約準備・調達・設定	利用開始	故障機修繕対応・予備機の確保		次期に向けた整備状況検討	↑ 1人1台端末を常時活用ができるよう、十分な予備機を整備している自治体の率(R10年に100%)
	ICT機器の充足	1人1台端末を効果的に活用をするため のICT機器の整備	教育委員会	計画的な整備	の実施	学校現場と優先順位の再確認	計画的な整備の実施	次期に向けた整備状況検討	<b>→</b>
	意見共有の場	ICT推進会議の定期開催	教職員・教育委員会	定期開催					<b>→</b>
	ネットワーク環境整備								
	必要なネットワーク速度の確保	学校で快適にネットワークに接続できる環 境の整備	教育委員会	ゼロトラストネットワーク構 築に伴い帯域調査	自己点検実施及び業務委託による アセスメント検討	自己点検実施及び業務委託による アセスメント検討	自己点検実施及び業務委託による アセスメント検討	次期に向けた整備状況検討	十分なネットワーク速度を確保済みの学校の率 (R7年に100%)
	ロケーションフリーな校務処理環境	多様な働き方を可能とするゼロトラストネットワーク環境の整備	教育委員会	構築	フルクラウド開始 リモートワークデモ実施開始	体制への意見徴収・意見反映検討		次期に向けた整備状況検討	参 教職員の働き方改革にも資するロケーションフリーでの校務処理を行っている自治体の割合(R11年に100%)
	教育情報セキュリティポリシー策定	セキュリティポリシーを定め、見直しと改訂 を実施	教育委員会	セキュリティポリシー策定	見直し策定	見直し策定・運用 セキュリティ委員会開催	セキュリティ委員会定期開催	セキュリティ委員会定期開催 次期に向けた検討	◆ クラウド対応の教育情報セキュリティポリシー策定済み自治体(R7年に 100%)
	必要なネットワーク環境の整備	特別教室や屋内外運動場にネットワーク を整備	教育委員会	計画的な整備	の実施	学校現場と優先順位の再確認	計画的な整備の実施	次期に向けた整備状況検討	
ICT利活用計画	1人1台端末の利活用	人1台端末の利活用		JAETへ登録・毎年見	直しを行い	学校情報化認定を取得した学校 のノウハウを他校にて共通認識	毎年見直しを行い、ノウハウを	生かし中央市立全小中学校にて	<b>→</b>
	ICT活用能力の向上	児童生徒と教職員のICTスキル向上	児童生徒・教職員・教育委員会	学校情報化認定に向	:向け取り組みを行う	化を行う	学校情報化認定を取得する。		週3回以上活用する学校 調べる場面 (R8年に小、中共に80%) キーボードによる日本語入力スキルの向上 (R8年に小学校40字/分、中学校60字/分)
	情報リテラシーの向上	児童生徒が自ら思考し判断できる能力の 向上	児童生徒・教職員・教育委員会	ICT推進委員会やアドバイザー の助言等により取り組み方法 を検討、ICT支援員の伴走支援 によりデモ実施	ICT推進委員会やアドバイ ザーの助言等やICT支援員 の伴走支援により取り組み 実施・ICT推進会議にて随	見直し実施 ICT推進委員会やアドバイ ザーの助言等やICT支援員 の伴走支援により取り組み 実施・ICT推進会議にて随	ICT推進委員会やアドバイ ザーの助言等やICT支援員 の伴走支援により取り組み 実施・ICT推進会議にて随	次期に向けた検討 ICT推進委員会やアドバイ ザーの助言等やICT支援員 の伴走支援により取り組み 実施・ICT推進会議にて随	<ul><li>情報活用能力の底上げ(小学校レベル3, 中学校レベル5以下の減少)R</li><li>8年に小学校 49.9%→20%以下、中学校 57.1%→20%以下</li></ul>
	個別最適な学びの拡充	児童生徒が個々の学習進度に応じて自 主的に学習する力を身に付ける	児童生徒・教職員・教育委員会						週3回以上活用する学校 理解度に合わせて課題に取り組む場面 (R8年に小、中共に80%)
	協同的な学びの拡充	児童生徒が自分の意見を発表する場面 を設け、互いに学習する力を身に付ける	児童生徒・教職員・教育委員会						週3回以上活用する学校 児童生徒同士でやりとりする場面(R8年に小、中共に80%) 発表・表現する場面(R8年に小、中共に80%)
	多様な児童生徒に合った学びの拡 充	多国籍児童や、障害のある児童生徒など に対しICTを活用し最適に学習する力を 身に付ける	児童生徒・教職員・教育委員会		時意見徴収、改善	時意見徴収、改善	時意見徴収、改善	時意見徴収、改善	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の割合(R8年に100%)
	校務DX			JAETへ登録・毎年見直しを行い		学校情報化認定を取得した学 校のノウハウを、未認定校に	毎年見直しを行い、認定校のノ	ウハウを生かし中央市立全小中	→
	クラウド型校務支援システムの 導入	境界のない次世代の校務支援システムの 整備	教育委員会	学校情報化認定に向い	かけ取り組みを行う (スプリング)		学校にて学校情報化認定を取得	持る。	次世代の校務システムを導入済みの自治体の割合(R11年に100%)
	Uケーン3ンリーな校務処理環 境 (再規)	多様な働き方を可能とするゼロトラストネットワーク環境の整備	教育委員会	構築	リモートワークデモ実施 県下統一校務支援システム利用開始	体制への意見徴収、 意見反映検討		次期に向けた検討	教職員の働き方改革にも資するロケーションフリーでの校務処理を行って いる自治体の割合(R11年に100%)
	連絡のデジタル化	教職員と保護者間の連絡のデジタル化を 行い、ペーパーレスや校務効率化を図る	教職員・教育委員会	ICT推進委員会やアドバイザー	ICT推進委員会やアドバイザー の助言等やICT支援員の伴走支 援により取り組み実施・ICT推 進会議にて随時意見徴収、改 善	見直し実施 ICT推進委員会やアドバイザーの助言等やICT支援員の伴走支援により取り組み実施・ICT推進会議にて随時意見徴収、改善	取り組み実施・ICT推進会議に て随時意見徴収、改善	次期に向けた検討 取り組み実施・ICT推進会議に て随時意見徴収、改善	•
	連絡のデジタル化	教職員間の連絡のデジタル化を行ない、 ペーパーレスや校務効率化を図る	教職員・教育委員会	の助言等により取り組み方法 を検討・ICT支援員の伴走支援					
	AIの利用拡充	AIを活用し、校務DXを促進	教職員·教育委員会	によりデモ実施					





